

# 平成29年度シラバス（ダイビング）

学番 78 新潟県立海洋高等学校

|        |                        |     |     |         |              |
|--------|------------------------|-----|-----|---------|--------------|
| 教科（科目） | 水産（ダイビング）              | 単位数 | 2単位 | 学年（コース） | 2学年（海洋創造コース） |
| 使用教科書  | 潜水技術検定テキスト（社会スポーツセンター） |     |     |         |              |
| 副教材等   | なし                     |     |     |         |              |

## 1 学習目標

ダイビングに関する基礎的な知識と技術を習得し、自然と共生した豊かな沿岸域の調査・開発・整備・利用のあり方を生徒が自ら考える態度を養い、本県の水産業および沿岸域の社会基盤の整備・維持・管理に貢献する能力と態度を身につけることを目指します。

## 2 指導の重点

ダイビングに関する基礎的な知識と技術を習得し、自然と共生した豊かな沿岸域の調査・開発・整備・利用のあり方を生徒が自ら考える態度を生徒が自ら考えることができるように、

- ①ダイビングの意義と沿革及び現状を理解することを目指します。
- ②水中環境と人体への影響について理解することを目指します。
- ③ダイビング機器の種類や使用方法を理解することを目指します。
- ④安全な潜水活動及び緊急時に対応できる知識と技能の習得を目指します。

## 3 指導計画

| 月           | 単 元 名  | 教 材   | 学 習 活 動（指導内容）                       | 時 間 | 評 価 の 方 法  |
|-------------|--|---|-------------------------------------|-----|--|
| 4<br>5      | ○潜水の歴史と種類<br><br>○潜水適性<br><br>○自然保護・漁業との共生<br><br>○潜水器材<br>（1学期中間考査） | ○潜水技術の発展<br><br>○潜水に対する適性と適性保持<br>○自然保護・潜水と漁業<br><br>○スキンドайビング用器材<br>○スクーバダイビング用器材     | ○潜水の歴史からその技術の発展を知り、現在の潜水技術の概要を理解する。 | 4   | ○授業の取組状況<br><br>○授業での課題<br><br>○定期考査                   |
|             |  |   | ○安全に潜水を行うための基本事項を理解する。              | 4   |  |
|             |  |   | ○潜水活動が周囲の自然に及ぼす影響とその対策を理解し、考えを深める。  | 2   |  |
|             |  |   | ○各種潜水器材の機能と取扱い方法を理解する。              | 5   |  |
| 6<br>7      | ○潜水生理<br><br>○潜水環境<br>（1学期期末考査）                                      | ○人体について<br>○高圧下での人体と疾病<br>○浮力と圧力<br>○気体の法則  | ○人体の構造を知り、高圧下での人体への影響及び疾病について理解する。  | 5   | ○授業の取組状況<br><br>○授業での課題の内容<br><br>○定期考査                |
|             |  |   | ○浮力と圧力を理解し、圧力変化に応じた気体の挙動を理解する。      | 7   |  |
| 9<br>10     | ○減圧症<br><br>○減圧表<br>○潜水計画<br><br>（2学期中間考査）<br><br>○潜水記録              | ○概要及び予防と治療<br><br>○減圧表の読み方<br>○マルチレベルダイビング（2つ以上の水深への潜水）の計画。<br><br>○ログブック記入法<br>（潜水記録簿） | ○減圧症の概要と原因を知り、予防法を理解する。             | 5   | ○授業の取組状況<br><br>○授業での課題の内容<br><br>○技能の到達度<br><br>○定期考査 |
|             |  |   | ○減圧表の読み方を身につける。                     | 5   |  |
|             |  |   | ○減圧表を読み、安全に潜水を行うための計画の立て方を身につける。    | 3   |  |
| 11<br>12    | ○安全潜水<br><br>○セルフレスキュー<br>（2学期期末考査）<br>○救急蘇生法                        | ○安全管理と自己責任<br><br>○緊急時の対応<br><br>○救急蘇生法の流れと要点   | ○安全潜水への留意事項を理解する。                   | 5   | ○授業の取組状況<br><br>○授業での課題の内容<br><br>○定期考査                |
|             |  |   | ○緊急時の事例を通してその対応法を理解する。              | 4   |  |
|             |  |   | ○救急蘇生法を理解し、その実践ができる。                | 3   |  |
| 1<br>2<br>3 | ○潜水の種類<br><br>○潜水関係法令<br>（学年末考査）                                     | ○送気式潜水と自給気式潜水<br>○労働安全衛生法、労働安全規則、高気圧作業安全衛生規則  | ○各種潜水方法を理解する。                       | 6   | ○授業の取組状況<br><br>○授業での課題の内容<br><br>○定期考査                |
|             |  |   | ○各種関係法令の意義および内容を理解する。               | 6   |  |

計64時間（55分授業）

## 4 課題・提出物等

○各単元および実習ごとにワークシートやレポートの提出を指示することがあります。

## 5 評価規準と評価方法

| 評価は次の4観点から行います。  |  |  |   |
|--|--|--|---|
| ①関心・意欲・態度  | ②思考・判断・表現  | ③技能  | ④知識・理解  |
| ○潜水技術のみならず潜水環境や人体における影響について関心を持ち、知識の習得に意欲を持って取組もうとしている。  | ○潜水に必要な知識を習得し、その知識を総合的に活用して潜水作業で生じる諸問題の対して適切に判断し、表現することができる。 | ○減圧表などを用いて、安全な潜水計画を立て、ログブックを正しく記入することができる。<br>○潜水器材を適切に扱うことができる。 | ○潜水に関する総合的な知識を習得している。<br>○潜水に関する知識を身につけることの意義及び知識の活用法を理解している。 |
| 以上の観点を踏まえ<br>○授業への取組(授業態度, 出席状況, 発問への対応, 発表の様子など学習活動への参加状況)<br>○提出物(ワークシート, レポート)などの内容および期限の順守 ○定期考査<br>○実習行動(安全への配慮, 班別活動の様子など) ○実習における技術・技能の到達度 ○自己評価<br>などから、総合的に判断します。 |  |  |   |

## 6 担当者からの一言

海洋開発・資源増殖・海洋性レクリエーションなどで、ダイビングの利用が高まっています。この科目では、ダイビングに関する基礎・基本を学習します。安心・安全にダイビングを行い、海の環境調査や工事に欠かせない知識と技術の習得を目指します。

(担当：金子義昂)